



# 念じられ 照らされて

## 至冷なる悲郷

中山善雄

来年(二〇二三年)私たち真宗大谷派は、宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要をお迎えます。その慶讃テーマとして掲げているのが、「南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」という言葉です。このテーマは、人として生まれたことについての意味や願いが託されているのかを問うています。同時に私は、そのことを考えることなく日常に埋没している自分自身が、果たして「人」として生きていくといえるのか、とテーマから問われているようにも感じています。

「現世に地獄を作る人だな」という川柳が掲載されていました。地獄などというと夢幻のようには思いますが、私たちは現世に自ら地獄を作り出しているのではありませんか。私たちが果たして人であるといえるのか。川柳は、そのように問いかけているようにも感じられます。私たちが確かであると思いついてこの世間、そして私という存在こそが壊れゆく夢幻であり、実在しているのはむしろ地獄の世界ではないかと――。

先月(八月)には、多くの方がお盆をお迎えされたことと思います。お盆は元々、盂蘭盆会といわれ、お釈迦さまのお弟子である目連尊者が、餓鬼道をさまよっている母を供養することから始まったと伝えられています。餓鬼道が表しているのは、常に餓え、決して満足することのない欲望の世界です。その欲望を満たすために利用しあい、人を優劣で価値づけ、身心を引き裂き合っているのが、私たちの作る地獄であるでしょう。

また、今月には彼岸会が勤められます。彼岸の日には、太陽が真西に沈みます。その日没に滅びと死を想い、また西方浄土を想うのが彼岸会の意味であるでしょう。「私が」という思いに執着し、善し悪しを争い合うこの世間が、すべて壊れゆく幻の世界であることを、日没と西方浄土から照らし出されるのです。

われ、お釈迦さまのお弟子である目連尊者が、餓鬼道をさまよっている母を供養することから始まったと伝えられています。餓鬼道が表しているのは、常に餓え、決して満足することのない欲望の世界です。その欲望を満たすために利用しあい、人を優劣で価値づけ、身心を引き裂き合っているのが、私たちの作る地獄であるでしょう。



<略歴>  
1976年、埼玉県生まれ。大谷専修学院指導補を経て、現在は教学研究員。

私たちの真の故郷、そこから生まれそこへ帰るゆく終の帰依処としての浄土はどこにあるのか。それは他ならない、幻の現世に執着して地獄を作り出すことの痛ましさを照らされ、悲しみを感ずるところに浄土があらわれているのです。

# 秋季彼岸会。永代経法要

9月20日～26日  
午後1時から勤行・法話

26日(月)	25日(日)	24日(土)	23日(金)	22日(木)	21日(水)	20日(火)
三枝	内記	小原	三島	春國	旭野	橘
正尚氏 (随縁寺住職)	浄氏 (往還寺住職)	正憲氏 (専念寺住職)	多聞氏 (別院輪番)	文春氏 (玄興寺住職)	康裕氏 (永養寺住職)	出氏 (駐在教導)
「人と生まれたことの意味をたずねていこう」	「一つの世界・二つの世界」	「本願力にあいぬれば」	「仏のみ名のもとに」	「往生極楽の道を問ひ聞かん」	「あなたほどのような親鸞さんに出会っていますか」	「我が名を称えよ」

## 報恩講

### 真宗公開講座

十一月一日  
時間 午後6時から  
講師 細川好圓氏  
テーマ 「立教開宗」  
参加費 500円

### ハープ演奏

十一月二日  
時間 午後2時  
演奏者 (連夜法要後) 森清 奏子氏

### 御伝鈔の夕べ

十一月三日  
時間 午後6時半  
伴奏者 曾爾テラワキ

### 帰敬式

時間 午前9時半



第2回 ご坊文化芸術祭 (秋季彼岸会併催)  
**Inochi** 日本在住ウクライナ人アーティストによる命の表現  
—— ウクライナ人道支援プロジェクト ——  
展示期間：9月20日～26日 会場：高山別院

## 高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 御修復懇志金の御礼

2016年よりお願いしておりました高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要に伴う御修復懇志金につきまして、飛騨一円のご門徒さま、有縁の方々、各寺院住職・寺族のご理解とご協力により多大なるご懇念を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。  
おかげさまで御遠忌法要及び記念事業を完遂することができました。ここにその収支決算を提示いたしますのでご確認いただきますようお願い申し上げます。

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 特別会計収入支出決算書 (2016年1月1日～2022年6月30日)

収入総額	534,661,325円
支出総額	529,545,325円
差引残高	5,116,000円

※ 剰余金は高山別院会計へ

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
項目	決算額	項目	決算額
1. 懇志金	440,350,287	1. 法要教化費	52,397,072
2. 法要御香儀	10,044,961	2. 記念事業費	436,285,000
3. 冥加金	5,632,000	3. 奨励費	5,503,513
4. 回付受金	51,600,044	4. 広報記録費	5,078,893
5. 助成金	27,000,000	5. 事務所費	3,268,242
6. 雑収入	34,033	6. 予備費	27,012,605
合計	534,661,325	合計	529,545,325

仏教×グリーンフケア

尾角 光美

坊守さんとグリーンフ

みなさんはお寺にお参りに行かれたときに、坊守さん(住職の配偶者)と接していると思うのですが、坊守さんは、自分自身や他者のグリーンフをどのように経験しているのでしょうか。

私は以前「お寺の女塾」という、坊守さんをはじめとしたお寺に関わる女性を対象に、グリーンフとセルフケアを学べる講座を開催しました。その時の反響は大きく、東京と、関西で行ったのですが、いずれのクラスもまたたく間に定員が埋まったことを覚えています。それだけ学びのニーズは高かったのでしょうか。

印象的だったのは、講座が終わったときの感想で、「住職に送ったとき、坊守さん(住職の配偶者)と接していると思うのですが、坊守さんは、自分自身や他者のグリーンフをどのように経験しているのでしょうか。」と聞いたときに「お寺を空けられないこと」と答えてくださった方もいました。ツイッターで「寺嫁」を検索してみると、嫁いだ先の地域のお祭も好きだけれど、身体に染み込んだ地元のお囃子を懐かしみ、坊守である限りもう地元のお盆のお祭りに参加できることはないことに、悲しみを感じている人の声を見かけました。坊守さんになったことで、失っているものがあり、そこにグリーンフがあることを感じるエピソードだと思いました。

坊守さん自身のグリーンフでもあり、他者のグリーンフでもあるのは、ご門徒さんが亡くなられることとです。ある坊守さんは「大きなケアが生まれることもあるのではないのでしょうか。」「お身体の調子いかがですか」と気にかけるこ

り出してもらったことを本当に感謝しています」という言葉が多く聞かれたこと。坊守さんご遺族へのお声かけに戸惑う坊守さんもいます。

一周忌のときに坊守さんが「もう一年経ったんですね」と声をかけたら「いや、まだ一年です」と返ってきた言葉を聞いて、傷つけてしまったのではと振り返る方もいます。これは「グリーンフは人の指紋ぐらい一人ひとりちがうもの」とか「ゆらいでいい」ことを知っていることで、違ったやりとりができたかもしれない。「この一年はどうでしたか?」と本人がどう感じられてきたのかを尋ねることもできます。

僧侶もそうですが、グリーンフについて知らないことで、無意識に傷つけるやりとりが生まれることがあります。その反対に、グリーンフのことを知らなくても、自然にケアが生まれることもあるのではないのでしょうか。」「お身体の調子いかがですか」と気にかけるこ

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

9月 講師 杉野 明真氏 (照蓮寺住職)

講題 「なむあみだぶつは阿弥陀さまからのお薬」

10月 講師 北條 秀樹氏 (了泉寺住職)

講題 「聞こう!」

28日 親鸞聖人ご命日法座

9月 講師 夏野 了氏 (満成寺住職)

講題 「願いに生かされて」

10月 講師 小原 正寛氏 (専念寺副住職)

講題 「真実信心」

ひだご坊

一口法話

URL: https://hidagobo.jp/sermon/ 9月1日から10月31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 春國 文春氏 (玄興寺住職)
三木 朋哉氏 (浄福寺住職)
橘 出氏 (岐阜高山教区駐在教導)
畑 亮徳氏 (願徳寺住職)
小原 正憲氏 (専念寺住職)
窪田 純氏 (圓徳寺住職)
内記 洸氏 (往還寺副住職)
伊達 晴香氏 (稱讚寺坊守)
森 香里氏 (秋聲寺坊守)

次号の『ひだご坊』発行は11月1日となります。

藤場芳子氏著 『女と男のナムアミダブツ』 好評につき、再販となりました。『~らしさ』にとらわれがちな私たちをハッとさせてくれる一冊です。 126頁 価格: 800円

大谷婦人会 定例法座

9月11日(日)

講師 白尾公信氏(了心寺住職)

10月11日(火)

講師 三島多聞 別院輪番

いずれも午後1時から

お墓の悩みや気になること相談してみませんか。些細なことでも気兼ねなくご相談ください。お墓の「困った」を解決します!!

ご相談・お見積り無料!! 株式会社奥田石材 OKUDA 0577-33-9601 0577-32-1483

寒いタイルの浴室を「そのまま暖めたが/フォーム」 70件以上の実績 「暖かくなった」と言われています 御相談・お見積り無料 TEL 32-2577

慈愛・共なる灯り 高山電気工事株式会社 保険タイム 506-0059 0577-35-1005

山都印刷株式会社 自主出版 編集・出版までお手伝い致します TEL 0577-31-1495

お仏壇 ほりお 仏壇工芸 高山市三福寺町369-7 TEL 0577-33-6686

久寿玉 KUSUDAMA 秋限定 ひやおろし 発売中 平瀬酒造店 TEL 34-0010

お墓の修繕 高山墓石店 090-7677-4883 506-0814 高山市滝町1362